



# 保健室だより 9月号

大阪府立茨木西高校 保健室

## おぼえていろよ おおきな木



これは、佐野洋子さんが書かれた絵本の題名です。もちろん小さい子ども向けの本ですから、内容はごくごく単純なストーリーです。朝夕少しずつのぎやすくなり、衰えた食欲も回復したところで、ちょっと心にも栄養を……。と言うわけで今月はその単純なストーリーをさらに短くまとめて、ご紹介したいと思います。

『おおきな木の陰に、一人のおじさんが住んでいました。春になってその木に花が咲けば、たくさんの鳥が集まりさえずるので、おじさんはうるさくてゆっくり眠ってられません。おじさんは飛び起きて、木を蹴っ飛ばしながら、

「おぼえていろよ」と、怒鳴ります。

風になって木陰でお茶を飲んでいれば、鳥の糞が落ちてきて、カップのお茶を汚します。

おじさんは、また「おぼえていろよ」と、どなります。

洗濯物を干しても、その木の陰でなかなか乾かず、昼寝をすれば毛虫が落ち、秋になれば枯葉が庭を汚し

雪が降れば枝から落ちる雪のかたまりに押しつぶされ、そのたびに  
おじさんは、「おぼえていろよ」「おぼえていろよ」と、木を蹴っ飛ばします。

そして最後には、かんにんぶくろ 堪忍袋の緒が切れて、家から大きな「おの斧」を持ち出し、

その木を根元からバツサリ切り倒してしまうのです。

さて、春になりました。。。。。

春になっても大きな木に花は咲かず、おじさんはいつ春になったのかもわかりません。

小鳥たちが寄って来ないので、朝になったのもわかりません。お茶を入れても木陰はなく、洗濯をしてもロープを結ぶ枝がなく、昼寝をしたくてもハンモックを掛ける木がないのです。

秋になってもおいしい実はならず、落ち葉がなければ焼き芋も焼けません。

冬。。。。。雪が降って、おじさんは何も無い地面を見つめて

「す〜っ」とため息をつきました。雪が解けて、大きな切り株を見て、

今度は「ふ〜っ」とため息をつきました。

そして。。。しばらくして「く〜っ」と言いました。

それから、「くっくっくっくっ。。。。。」と言って切り株の上に倒れて大きな声で泣き出してしまったのです。

おじさんは切り株をなでながら、いつまでもいつまでも泣き続けるのでした。』



こんな単純なストーリーなのですが、みなさんはこの話に出てくる「おおきな木」。。。どんな風に感じましたか。

小さい子ども向けの絵本ではあるけれど、なんとなく、人は誰もみな「その心の奥底に、それぞれの大きな木を抱え持っているのではないかな。。。。」そんな気にさせられるお話です。

かけがえのない大切なものなのに、毎日の生活の中では、わずらわしさや面倒くささばかりが先に立って、ついその大切さを見失ってしまう。。。

みなさんにとっての「おおきな木」って なんてでしょう。。。？

勉強？ 進路？ 友達との付き合い？ 部活？ 親との関係？



春を告げ、鳥を呼び、いつしかたくさんの実を結ぶ「おおきな木。。。。」なのに、時折思い通りに行かなくて（思い通り育たなくて）。。。投げ出してしまいたくなくなり、落ち込んだり、恨んだり。。。。。

これがなければどんなに気が楽かしら。。。と思うことや、これがなければ、きっとすべてうまくいくのに。。。と恨めしく思うことも、見方を変えればみんな大切な「大きな木」？ なのかも知れません。

「この木がなければ。。。」と、タラ／レバの世界で、木を切り倒すことばかりを考えていたのでは、心は重くなるばかり。。。。。

この木があるから感じられる喜びもある。

この木のおかげで、辛さやしんどさを乗り越えた後に ささやかな達成感も味わえる。。。

「心の持ち方、あり方ひとつで、見えてくること、

乗り越えられることがたくさんあるんだ。。。。」そんな風に思えばいいですね。

夏休みも終わり、いよいよ二学期が始まります。それぞれに心に期すこと、やらなくてはならないことがたくさんあると思いますが、おおきな木（おおきなプレッシャー）は、いつかたくさんの実を結びます。

やさしい物語だけれど、そこにこめられた優しいメッセージが、ちょっと心を元気にしてくれるこの絵本。 原作本で読むともっと気持ちが伝わるかも知れません。。。出版社は講談社です。

さてさて、この物語のエンディングは。。。。、

さめざめと切り株にすがって泣くおじさんの目に、

鮮やかな小さな双葉がみえます。

おじさんは毎日一生懸命水をやります。

大きな木になるのはまだまだ先、

でも新しい芽はグングン伸びて、やがては新しい「おおきな木」になり、おじさんに、またたくさん喜びと、ちょっぴりのわずらわしさ？ を与えてくれる日が来るのです。

めでたし めでたし。。。と言うわけです。

絵本も映画も、最後はやっぱり Happy でなくっちゃ。。。ね。

